

平成30年度九州防衛施設地方審議会議事録

- 1 日 時：平成30年10月16日（火）9時30分～10時00分
- 2 場 所：九州防衛局 第1会議室
- 3 出席者：
(委員)

田中 里美	田中里美法律事務所 弁護士
平岩みゆき	けやき通り法律事務所 弁護士
岡田 英吾	一般財団法人日本不動産研究所九州支社 参与
高木 直人	公益財団法人九州経済調査協会 理事長
野中和香成	福岡県土地家屋調査士会 会長（欠席）
若色 敦子	熊本大学大学院法曹養成研究科 准教授
富取 隆浩	株式会社みずほ銀行福岡支店 執行役員支店長
立石庄一郎	一般財団法人自衛隊援護協会福岡支部 支部長

(九州防衛局)

局 長	三貝 哲
次 長	榊賀 政浩
総務部長	関 正人
企画部長	岩田 和昭
調達部長	小森 達也
管理部長	高谷 均
防衛補佐官	太田 幹雄

業務課長 本日は、委員の皆様におかれましては何かとご多用中の折、当審議会にご出席賜り、誠にありがとうございます。本日の進行役を務めます業務課長の池田でございます。よろしくお願いたします。

まず、お手元の方に本日使用する資料等をご準備しておりますので、その確認をしていただきたいと思います。まず、会議の次第、続きまし

て地方審議会の根拠・目的・委員の先生方のプロフィール、本日の配席図、概要説明の資料となっております。

本日のスケジュールをご説明します。事務局から報告事項を申し上げた後、本日は諮問案件がございませんので、概要説明を予定しております。所要時間は、質疑応答及び意見交換を含めて約30分を予定しております。その後、マイクロバスにて佐賀県吉野ヶ里町にあります陸上自衛隊目達原駐屯地に移動していただき、駐屯地の概要説明、司令との会食、装備品等の見学を予定しております。なお、合同庁舎への到着時間は16時頃を予定しております。以上が、本日のスケジュールでございます。

では、早速でございますが、事務局からの報告事項をお話させていただきます。前回の審議会は、昨年の9月27日に開催されましたが、その後、委員の退任・就任がございましたので、この場をもちましてご報告させていただきます。本年、自衛隊援護協会福岡支部長の太田良俊様が退任されております。

次に、就任された委員ですが、出席委員のご紹介と併せてご報告いたします。

初めに、会長をご紹介いたします。

田中里美法律事務所 田中 里美 様

次に、各委員をご紹介いたします。

けやき通り法律事務所 平岩 みゆき 様

日本不動産研究所九州支社参与 岡田 英吾 様

九州経済調査協会理事長 高木 直人 様

熊本大学大学院法曹養成研究科 准教授 若色 敦子 様

株式会社みずほ銀行福岡支店執行役員支店長 富取 隆浩 様

自衛隊援護協会福岡支部 支部長 立石 庄一郎 様

以上、本日は7名の委員の出席をいただいております。

続きまして、九州防衛局から出席者を紹介いたします。

局長、お願いします。

次長、お願いします。

総務部長、お願いします。

企画部長、お願いします。

調達部長、お願いします。

管理部長、お願いします。

防衛補佐官、お願いします。

このほか、本審議会幹事もこの場に出席しております。

それでは、審議会に入らせていただきます。最初に、田中会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。

田中会長 九州防衛施設地方審議会会長をさせていただいております田中里美でございます。九州防衛局の皆様におかれましては、本審議会の開催に当たり、日程調整や準備など色々とお骨折りいただき、ありがとうございます。また、各委員におかれましては、何かとご多用の折り、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

さて、ここ九州は日本海を挟んで中国・朝鮮半島と極めて近いという地事情がございます。九州防衛局におかれましては、刻々と変化する国際情勢の中で、国防を担う自衛隊や在日米軍の活動が、円滑、かつ、効果的に行われるよう、その基盤となる防衛施設の取得や管理にあたっておられるほか、地方公共団体の住民の皆さんや地方公共団体そのものとのパイプ役を果たすなど側面から自衛隊や在日米軍を支える防衛行政の拠点として、重要な役割を担っておられることは十分承知しております。

皆様、ご案内のとおり、本審議会は、九州防衛局長の諮問に応じまして、自衛隊や在日米軍の活動に伴い必要となる不動産の取得や、これらの活動に伴い生じた損失の補償などについて、調査、審議することを目的として設置されたものでございます。

本日は、これらの事項のうち、陸上自衛隊の佐賀空港利用について、九州防衛局からご説明いただき、これを機会に、私も含めまして、各委員の防衛局業務に対する理解や、防衛問題に関する知見をより深めて、今後の審議の参考にしたいと考えております。

以上、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

業務課長　　ありがとうございました。続きまして、三貝九州防衛局長からご挨拶申し上げます。

局長　　本日、お忙しい中お集まりいただきまして、大変ありがとうございます。去年は長崎にご視察に行っていただきましたが、雨の中、非常にご不便をお掛けしました。今日は非常に清々しい天気の下、目達原駐屯地をご視察いただければと思っております。

今、防衛省は、防衛計画の大綱という、私たちの将来の防衛体制のあり方を決めた文書の見直しの議論をしております。今の大綱の中でも、やはり南西重視、特に島嶼防衛というところに力を入れておりますが、恐らくこのトレンドは今後も変わらず、今の安全保障環境を考えますと、より重要性が高まっていると思います。

そういった中で、今日ご説明させていただく佐賀空港へのオスプレイの配備は、水陸機動団という島嶼防衛のまさに骨幹となる部隊を迅速に輸送する手段の一つとして期待されています。本年8月24日に佐賀県知事より佐賀県としての受け入れを表明していただきまして、今後、県と漁協との間で、今の空港を作る時に結んだ公害防止協定の取扱いについての協議が行われることになるかと考えています。その協議次第では先生方のお知恵を拝借させて頂くこともあろうかと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

業務課長　　それでは、議事に移りますが、議事の運営につきましては、田中会長にお願いしたいと思います。会長、よろしく願いいたします。

田中会長　　それでは、九州防衛施設地方審議会運営規則 第3に基づきまして議事を進めたいと思います。本日は、当審議会委員8名のうち、欠席された野中委員を除き、7名の委員に出席をいただいております。従いまして、過半数の委員の出席が認められますので、防衛施設地方審議会令 第4条 第2項に基づき、平成30年度九州防衛施設地方審議会を開催いたします。

冒頭、事務局よりご説明がありました。本日は諮問案件はないとのことですので、陸上自衛隊の佐賀空港利用について、企画部長の岩田様からご説明をお願いいたします。

企画部長 [企画部長 説明]

田中会長 ありがとうございます。

ただいまご説明いただきましたが、委員の皆様の中で何かご質問やご意見などございますでしょうか。ありましたらご遠慮なくお願いいたします。

皆様よろしいでしょうか。それでは、これをもちまして、平成30年度九州防衛施設地方審議会を閉会することいたします。ありがとうございました。

業務課長 ありがとうございます。これから、目達原駐屯地へマイクロバスにて移動します。玄関前にマイクロバスを準備しておりますので、ご乗車いただきますようお願いいたします。

(了)